

射的ゲームで活動PR

京丹後市農業委員会



イノシシを退治するぞ！ 将来は猟師になるかな？

京丹後市農業委員会（梅田和男会長）は19日、道の駅「丹後王国・食のみやこ」100万人感謝祭に出展し、来場者5500人に活動をPRした。

今回の出展は、「昨年7月から新体制に移行した農業委員会の活動を見える化したい」（梅田会長）と企画したもので、農業委員全員が参加。現場で農地利用最適化の最大の障害となっている「獣害対策の啓発」に取り組んだ。

当日は、農業委員会の特設テントで来場者にイ

活動“見える化”へ 獣害対策を啓発

ノシシ汁700杯をふるまい、農家相談や獣害対策のパネル展示にも取り組んだ。特に、子ども向けに企画したイノシシ・シカ射的コーナーは好評で、約200人の子どもが射的ゲームを楽しんだ。

同市農業委員会では、合併前の旧6町単位に、農業委員と農地利用最適化推進委員の「地域会議」を定期的に開催。担い手への農地集積や遊休農地解消の数値目標を掲げて、活発に活動を展開している。

同委員会では、今回の経験を踏まえて、引き続き積極的に「農業委員会活動の見える化」に取り組んでいく予定だ。